

Kandai Style

2023.10 Vol.510
関西大学通信

訪ねてみたい
関西の美術館



訪ねてみたい 関西の美術館



文学部1年次生
あきやま
秋山あかねさん

プロフィール
美術好きのご両親の影響もあり、幼い頃から絵画作品に興味を持つようになった秋山さん。日本やアジアの美術品が好きで、一番好きな画家は江戸時代の戯画作者、耳鳥齋^{みどり}。文学部芸術学美術史専修で学びながら美術史の知識を深め、学芸員になることが将来の夢。
※ 関西大学アジア・オープン・リサーチセンターの特設サイト <https://www.ku-orcas.kansai-u.ac.jp/nichosai/>にて紹介。



好きな美術館を教えてください。

私が紹介したい美術館は、京都市内にある、**泉屋博古館**です。中国青銅器を主とする所蔵品そのものの魅力もさることながら、自然と調和した中庭や渡り廊下、光を採り込む青銅器館展示室のらせん階段といった建築、それらが融合したシンプルながらも優雅なたたずまいが素晴らしいです。また館員の方のPRが魅力的で、公式SNSの「#青銅器かわいい」の情報片手に鑑賞すれば、新たな発見があります。

私のお気に入りの展示品の一つに「虎首」という青銅器がありますが、おどけたような表情がとても可愛いです。作品を見て初めに感じたことを大切にしたいですね。皆さんも美術を難しく考えず、気軽に足を運んでみてください。



▲休憩室

他にお気に入りの美術館はありますか？

中之島香雪美術館です。今年の春に開催された企画展「修理のあとに エトセトラ」に興味深く鑑賞しました。この美術館は、朝日新聞社創業者の村山龍平氏が集めた日本と東アジアの古い時代の美術品を分かりやすく展示しています。国指定重要文化財「旧村山家住宅」に建つ茶室「玄庵」を原寸大で再現した茶室もあり、常設展示の見どころと言えます。梅田エリアからも近いので、ぜひ立ち寄ってみてください。



せんおくはくこかん 泉屋博古館

京都市左京区
鹿ヶ谷下宮ノ前町24 ▲青銅器館ホール

【開館時間】 10:00 ~ 17:00 (最終入館 16:30)
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日)、展示替え期間、年末年始、その他臨時に定める日
【入館料】 一般 800円 高大生 600円 中学生以下 無料
【アクセス】 地下鉄東西線「蹴上」駅より徒歩約20分、または京都市バス「東天王町」から200m/「宮ノ前町」下車すぐ

〈展覧会情報〉

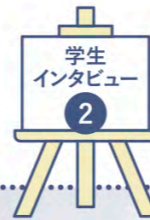
9月9日~10月15日(日)、11月3日(金・祝)~12月10日(日)の期間、「中国青銅器の時代」を開催。
※2024年1月~2025年春(予定)まで、改修のため休館

(画像提供:泉屋博古館)

この秋、関大生の皆さんがやってみたいことは何ですか？

今月号の特集では芸術の秋にちなんで、お二人の学生にお気に入りの私立美術館について、その魅力を語ってもらいました。また、お出かけ気分アートを楽しめる近郊の施設をいくつか紹介します。

皆さんもこの秋、美術館を訪ねてみてはいかがでしょうか。



社会学部4年次生
おだこうへい
小田康平さん

プロフィール
「2カ月に一度くらいのペースで美術館を訪れています」と話す小田さん。美術やファッションに興味を持ったのは高校3年生の時。買い物に行ったついでに友人に誘われて美術館を訪れ、そこでゴッホの「ひまわり」を初めて見たことがきっかけに。大学では準登録団体のダブルダッチサークル「mixpackage」に所属し、学業、部活、プライベートと充実した学生生活を送る。



おすすめの美術館を教えてください。

山王美術館をお勧めします。JR京橋駅から徒歩からほど近くにある、2022年に移転オープンしたばかりの上品で洗練された美術館です。近代の西洋絵画・日本洋画・日本画・陶磁器・彫刻と多岐にわたるコレクションを有する展示室は3フロアで構成されており、作品間のスペースがゆったりしているので落ち着いて鑑賞したい人にはピッタリ。

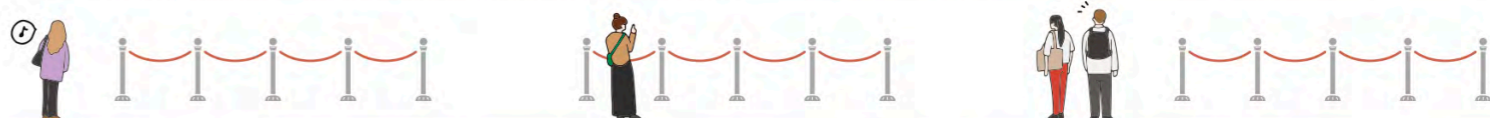
鑑賞後にはミュージアムショップに立ち寄り、コーヒーやお茶のセルフサービスコーナーで休憩もできます。春夏と秋冬の年2回開催される展覧会では毎回異なったジャンルの貴重な作品が見られるので、ぜひ訪れてみてください。



▲1階休憩スペース

美術作品の楽しみ方は？

予備知識と展示の解説とを併せて作品をより深く味わうこともありますが、純粋に作品をじっくり見て、あたかも自分が絵の中に入り込んだような感覚になれるのが醍醐味です。2022年に**大阪市立美術館**で開催された「フェルメールと17世紀オランダ絵画展」で、有名な「牛乳を注ぐ女」を見ましたが、フェルメールの作品の陰影のある独特の絵の世界に浸ることができました。



〈展覧会情報〉

9月1日~2024年1月29日(月)の期間、「横山大観・梅原龍三郎展」を開催。

(画像提供:山王美術館)

【アサヒグループ大山崎山荘美術館】京都市乙訓郡大山崎町

大正から昭和初期にかけて建設された「大山崎山荘」を修復し、安藤忠雄氏設計の新館「地中の宝宝箱」などを加え、1996年に美術館として開館。アサヒビール初代社長・山本爲三郎コレクションを中心に、モネの傑作「睡蓮」の連作など約1,000点を所蔵。築100年以上の建築物や美しい庭園、大山崎の景観も見どころ。眺望を楽しめるテラスが魅力の喫茶室もあり。12月3日(日)まで、「受贈記念: 没後10年 船木倭帆展」を開催中。



▲本館展示室

▲本館外観

(画像提供:アサヒグループ大山崎山荘美術館)

【福田美術館】京都市右京区嵯峨天龍寺

嵯峨嵐山の美しい自然の中にたたずむ洗練された美術館で、「たとえ美術に詳しくない方が見ても、感動を覚えるような」作品がコンセプト。江戸時代~近代にかけての有名な日本画家の作品で構成されるコレクション約1,800点を有し、年間を通じてさまざまな企画展示を行っている。一部を除き作品の撮影可(フラッシュは禁止)。ミュージアムショップでオリジナルグッズを見たり、渡月橋を一望する絶景カフェ(入館者専用)で一息入れるのもよし。10月18日(水)~2024年1月8日(月・祝)まで、「ゼロからわかる江戸絵画-あ!若冲、お!北斎、わあ!芦雪-」を開催。



▲外観



▲「季節の福パフェ」

(画像提供:福田美術館)

【堺 アルフォンソ・ミュシャ館〈堺市立文化館〉】堺市堺区

現在のチェコ共和国出身で、19世紀末から20世紀初頭にかけて花開いたアール・ヌーヴォーの代表的画家、アルフォンソ・ミュシャの素描、油彩、装飾パネル、ポスター、彫刻、工芸など約500点を堺市が所蔵。年間を通じて多彩な企画展、講演やその他イベントを行っている。11月26日(日)まで、企画展「アルフォンソ・ムハ モラヴィアン・ドリーム!」を開催。本学と堺市の地域連携事業でも総合情報学部がミュシャの魅力を発信している。



▲アルフォンソ・ミュシャ「黄道十二宮」1896年 堺アルフォンソ・ミュシャ館(堺市)蔵



▲企画展ポスター

(画像提供:堺 アルフォンソ・ミュシャ館)

近郊の おすすめ美術館



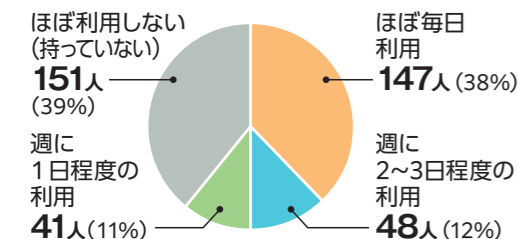
関大生の自転車事情

いつでも気軽に乗ることができる自転車ですが、交通事故に巻き込まれたり、自分自身が事故を起こしてしまうかもしれません。約束や授業に遅れる…と焦っているときも、まずは落ち着いて、安全運転を心掛けてくださいね！

今月号では、大学生の皆さんが自転車をどのように利用しているか、「ながら運転」の危険性、万が一に備える自転車保険、ヘルメットの効果などを紹介します！

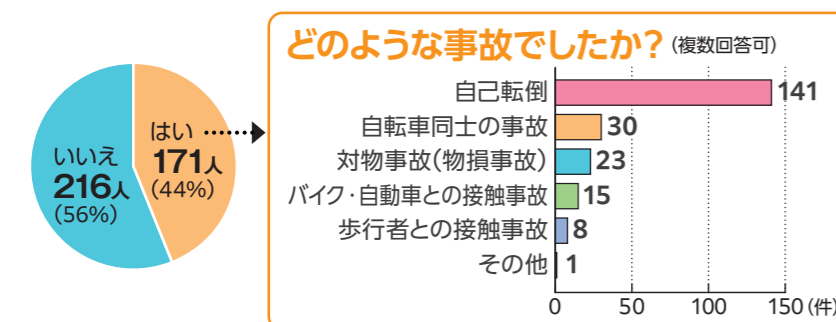
アンケート期間：2023年6月23日～7月14日 対象者：学生 回答者数：387人

Q1 普段、通学などの移動手段として自転車を利用していますか？



コメント
日頃から自転車を利用している学生は約60%。自転車で通学するときは、学内指定の駐輪場に止めてくださいね！

Q2 自転車に乗っていてけがをした(させた)ことはありますか？



コメント
半数近くの学生が、自転車だけけがをしたり、させたりしたことがあるようです。2022年に大阪府で発生した交通事故の件数は、2万5,509件。このうち自転車関連事故件数は8,855件と約35%を占めています。全体の交通事故件数は減少傾向にありますが、自転車事故の割合は増加しています。くれぐれもスピードの出し過ぎには気を付けてください。

大阪府警ウェブサイト「自転車関連事故の全交通事故に占める割合の推移(過去10年)」
(<https://www.police.pref.osaka.lg.jp/kotsu/taisakushitsu/6/jitensyajiko/5862.html>(参照 2023.7.20))より引用

「ながら運転」は事故のもと！

自転車運転中にスマートフォンを使用することは、**道路交通法違反となり[5万円以下の罰金]**が科せられます！

アンケートでは、約4割の学生が「知らない」と答えました。自転車運転中の「ながらスマホ」は違反です。その他にも傘を差す、物を手で持つなど、視野を妨げたり、安定を失う恐れがある方法で自転車を運転することは道路交通法違反となります。

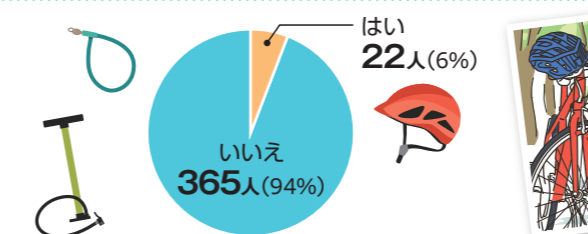
自転車運転中のイヤホンも危険です！

アンケートでは、自転車運転中にイヤホンやヘッドホンを使用したことがある学生は134人(35%)となりました。大阪府道路交規では、「ヘッドホンステレオ等を使用して大音量で音楽等を聴きながら自転車を運転しないこと」とありますが、音量にかかわらず、「安全運転の義務」に違反する可能性があります。事故が起きてしまえばそれが原因の一つとして、罰則が科されます。

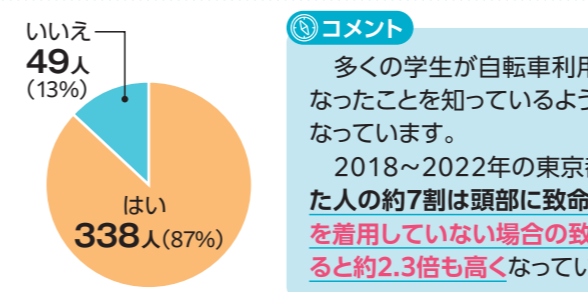
「ながら運転」は、注意が散漫になり、安定を失う恐れがあります。自分自身はもとより、他の人にけがを負わせてしまうこともあります。**大変危険ですので絶対にやめましょう！**

大阪府警ウェブサイト「自転車の交通安全ルールブック HTML版」
(<https://www.police.pref.osaka.lg.jp/kotsu/taisakushitsu/6/1/5864.html>(参照 2023.7.20))より引用

Q3 自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか？



Q4 自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になったことを知っていますか？ (2023年4月の道路交通法の改正による)



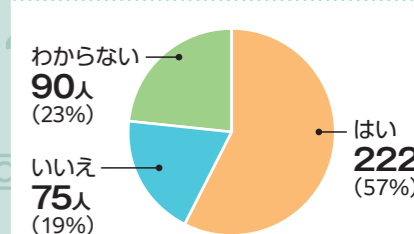
コメント
多くの学生が自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になったことを知っているようですが、着用率は6%と低い結果となっています。2018～2022年の東京都内において、自転車事故で死亡した人の約7割は頭部に致命傷を負っています。また、ヘルメットを着用していない場合の致死率は、着用している場合と比較すると約2.3倍も高くなっています。

乗車用ヘルメットは、できればSGマークなどの安全性を示すマークの付いた物を使い、あごひもを確実に締めるなど正しく着用しましょう！
最近ではぱっと見た印象ではヘルメットに見えないような物やおしゃれなデザインの物も販売されています。夏は日焼け対策、冬は防寒対策も兼ねてヘルメットを着用し、頭部を守りましょう！

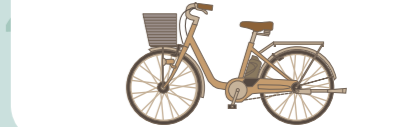
安全性を示すマーク(一例) >

警視庁ウェブサイト「自転車用ヘルメットの着用」
(<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kotsu/jikoboshi/bicycle/menu/helmet.html>(参照 2023.7.20))より引用

Q5 自転車保険に加入していますか？



コメント
自転車事故で数百万円～数千万円に上る治療費や損害賠償が発生した事例もあります。事故を起こさないのはもちろんですが、万が一のために自転車保険に加入しましょう！
自転車保険には、自動車保険や火災保険等に付帯するもの、加入者本人ではなく家族が契約しているもの、団体で加入するものなどがあります。また、車体に保険をかけて、誰が運転しても保険の対象となるものもあります。
自転車保険にはさまざまな種類があり、本人が気付かないうちに加入している場合もあるため、まずは保険に加入しているかどうか確認しましょう。



PROFESSOR'S COMMENTS
社会安全学部 伊藤大輔教授
自動車対自転車の事故における特徴的な形態として、自転車の飛び出しによる出会い頭の事故が挙げられます。もちろん自動車側の注意警戒も重要ですが、自転車側も視

界の悪い交差点では周囲の確認や一時停止が大切です。また、スマートフォンを操作しながら自転車を運転していると視界が95%減少するとの研究報告もあります。イヤホン・ヘッドホンなども使わず、五感をフルに使うって注意して自転車に乗るよう心掛けましょう。
上にも書かれているように、自転車重傷事故では頭部が最も受傷しやすい部位であり、ヘルメットを着用することで

死亡率を大きく下げることができます。力学的な視点で見ると、ヘルメットに期待される効果は、突起物の頭部への貫入防止、ヘルメットが変形することによる衝撃吸収と頭部に作用する荷重の分散です。これらの機能により自動車との衝突時や路面への転倒時の頭蓋骨骨折を防ぐことが期待できます。自分の身を守るために、ヘルメットを正しく着用してください。

次回のテーマは…「生成系AI(ChatGPTなど)との関わり方」
最近ではChatGPTをはじめとする生成系AIを利用している学生が増えているように見受けられますが、実際はどの程度の学生が何のために利用しているのでしょうか。
12月号では、学生の実態を調査し、生成系AIとの関わり方、注意点を紹介します。



博物館／学芸員

京都鉄道博物館 ひろ た たく や 廣田 琢也さん

洛南高等学校出身
2013年大学院文学研究科修了

イチかバチかのチャレンジで狭き門を突破 好きを生かして鉄道を「魅せる」学芸員に

廣田琢也さんは、公益財団法人交通文化振興財団が運営を受託している京都鉄道博物館に勤務する学芸員です。館内業務をはじめ集客のための季節イベントや、学校・地域との連携事業などを担当しています。

物心が付いた時から電車が好きで鉄道に関わる仕事に就くのが将来の夢で、「鉄道の魅力を伝えたい」という思いから鉄道博物館の学芸員を志望しました。

廣田さんは、学生時代に鉄道研究会に所属していたため、志望先とのつながりがあったことから、採用は難しいかもしれないと半ば諦めていたそうですが、イチかバチかと応募したところ見事採用を勝ち取ります。入職後に上長から京都鉄道博物館の開館をにらんで鉄道に詳しい人材を求めていることを聞き、「諦めず挑戦して良かった」と、その経緯を話しました。

関大時代は、2年次秋学期から土曜や夜間講義を利用して学芸員資格に必要な単位の取得に励みました。また鉄道研究会では、当時5大学で構成されていた「関西学生鉄道研究会連盟」への復帰準備や途絶えていた機関誌発行の復活など、外部交流の基礎作りに奔走。「関大で取得した学芸員資格と、同好会活動で築いた信用のお陰で今があります」と振り返ります。現在も、イベントや講演会を企画する際には、大学時代に築いた人脈に助けられることも多いそうです。

仕事では「趣味と仕事に近いので自分の嗜好が企画に表れ過ぎないように気を付けています」と、初めての来館者も楽しめる企画を心掛けています。さらに最近では知り合いを頼るだけでなく、新たなつながりを作ることに挑戦。2023年7月まで開催されていた「駅にまつわるテクノロジー展」では講演会を担当し、これまで面識のなかった自動改札の開発者の方に大学の人脈を頼って依頼し、大変興味深いお話をさせていただけたそうです。

最後に、「学生時代に誠意を持って取り組み、諦めずに挑戦したことで希望がかないました。ルールや型にとらわれず、自分らしいやり方で挑戦してほしいと思います」と学生にエールを送りました。



ある1日の
スケジュール

9:00 出勤
10:00 開館対応
11:00 イベント打ち合わせ
12:30 昼食
14:00 博物館・学校連携
打ち合わせ
16:00 イベント準備
18:00 退社



必須アイテムは、カメラとフリクションペン、名刺入れ、作業用手袋、カレンダー・手帳、時計、そしてトランシーバーです。

Museum Curator

VIVA!!

学び易



社会学部 メディア専攻

「専門演習I」

なが とみ まり
永富 真梨 准教授

音楽に関わる仕事の未来を託したい

目の前のこと全てから学び、希望する道を切り開ける人生へ

永富真梨准教授のゼミは、音楽に関わる労働者の社会・文化アイデンティティーがテーマです。音楽産業の現状を理解し、労働環境の改善や音楽文化をより身近に広げる方策を探ります。

ゼミでは音楽産業の構造と実態を、音楽に関わる作品や現地調査などから社会的な視点で分析します。例えば、CDなどのクレジットから制作に関わる職業をピックアップする課題や、中古レコード店や音楽喫茶へ赴き現地調査をはじめ、現役シンガーソングライター兼プロデューサーを招いたトークイベントも開催。さらに、表象研究やグループワーク、プレゼンテーション、論文の読み込みなど盛りだくさんです。卒業論文制作のための方法論を身に付けるという目的も兼ねており、さまざまなことを実践しながら自分自身の「問い」を見つけて卒業論文のテーマへとつなげます。

これらの多面的な学びには、「目の前のことを楽しめるようになってほしい」という永富准教授の思いが込められています。「多種多様な課題に主体性を持って取り組み、『自分で楽しむ』という選択ができる人は、全てから学びを得られる。この方法を習得して人生を切り開いてほしい」と語ります。

また、芸術家の労働とやりがい、作品づくりと仕事の境界線などのテーマは、社会学で近年クリティカルな問題として研究されているとも言います。永富准教授は自らも音楽活動を行っており、「音楽に関わる人の労働環境は厳しいものです」と、授業の中でも業界のリアルな実態を伝えていきます。そしてゼミ生には、「将来、音楽に直接関わる仕事でなくとも、それぞれの立場で新たな発想を持ち、音楽産業の未来を変えてほしい」と夢を託します。

これまでの自身の経験から、将来への道は一本ではないと語る永富准教授。最後に、「ゼミ生一人一人と信頼関係を構築し、自由に意見が言える場にしたいと思っています。ここで仲間を見つけ力を蓄え、就職でも留学でもそれ以外でも、自分が心から希望する道を選んでほしいです」と締めくくりました。



た なかあおい
田中碧さん(3年次生)



永富先生の柔らかい雰囲気の魅力を感じてこのゼミを選択しました。授業では、例えば音楽配信の普及によりCDの売り上げが落ちていることや、逆にライブの需要が増えたことなど、社会学的な観点から音楽を取り巻く環境について学んでいます。もともとは人前で話すことが苦手でしたが、このゼミは話しやすい雰囲気、発表やグループワークで人の前に立つ訓練にもなっています。

あさだ ゆい
浅田結衣さん(3年次生)



2年次に履修した音楽映像制作実習で永富先生の親身な指導に感銘を受け、このゼミを選びました。中学生の頃からライブハウスに通っていて、音楽産業にはもともと興味がありました。授業内容だけでなく、現役の音楽人でもある永富先生から興味深いお話を聞くことができるのも魅力です。将来はどんな形でもいいので一生音楽に関わり、音楽文化を支えたいと思っています。

サピアタワー

JR東京駅

なるほど・ザ・関大!

東京に行くなら

「関西大学東京センター」

寄ってこか

～東京センター公式マスコット「ほなくん」に教えてもらおう～



東京センター公式マスコット「ほなくん」



*** 忍法 *** リラックスタイム ☕

東京に来たらひと休み!

関西大学東京センターは東京のど真ん中、サピアタワーの9Fにあります。

東京駅発着の新幹線が見えるラウンジは最高の眺めで、夜景も絶景! 無料のティーサーバーでお茶やコーヒーも飲み放題です。東京に行くなら東京センターでリラックスしちゃいましょう。

※入館の際は、受付で学生証の提示が必要です。開室日・開室時間を事前に確認の上お越しください。



*** 忍法 *** 準備万端 📁

就職活動は東京センターでバッチリ準備しよう!

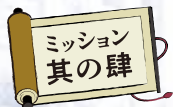
「東京で成績証明書が急に必要になった」と困った時も安心。各種証明書・学割証が発行できます。オンライン面接用のプライベートブースや、面接前の身だしなみを整えるアメニティーなど、なんでも揃っています。



*** 忍法 *** 東京を縦横無尽 🌊

東京で充実した時間を過ごそう!

個人ロッカー・更衣室を完備していますので、「空き時間に観光したい!」「新幹線に乗る前においしいご飯を食べたい!」という時は荷物を預けて身軽に行動できます。大きな荷物も事務室でお預かりが可能。ターミナル駅である東京駅からは、ディズニーリゾートや東京ドームへのアクセスも抜群です!



*** 忍法 *** 東京でも関西弁 ♥

東京でも『ホーム関大』を味わおう!

「どの電車に乗るか分からない…」というような小さな困りごとから「東京配属になったけど、どこに住んでいいか見当も付かない…」という不安まで、何か相談ごとがあればすぐに東京センターへ。

また、新入生や就活生向けイベント、新社会人向けの交流会・BBQなど関大生が集まれるイベントを多数開催しています! 入学前から卒業後まで、「東京にある母校」として、いつでもお待ちしております。

紙面のイラストはLINEスタンプ(関西弁ver.・関大キャンパスver.)などで要チェック!



公式ウェブサイト



Facebook



X (旧Twitter)



LINEスタンプ

Profile ほなくん

関西大学東京センターの公式マスコット忍者。主な任務は、東京センターの広報活動をお忍びでお手伝いすること。お供の“わんこ”と一緒に、大学や企業・イベントなどの情報を集めています。





商学部 4年次生

山口 貴弘 さん

**問題を解決する秘訣は
聞いて聞きまくって必死に実行すること**

山口貴弘さんは、大学生が社会人の基礎スキルを身に付けるための有給インターンシップ「Edu-Beit (エデュバイト)」を運営する日本エデュバイト協会 (JEBA) の学生実行委員を務めています。

JEBAでは学生自身が事業を主体的に運営しており、山口さんは、大学生1,500人のまとめ役として、エデュバイトでの成果を発表するプレゼン大会や、企業との連携事業、就活プラットフォームや法人SNSの運用など、JEBAが行うキャリア教育事業の運営と普及に取り組んでいます。併せて、人材マッチングやジョブイベントの事業で成果を上げるために、多くの企業を回って営業を行うこともあります。

ジョブイベントの費用対効果を数字で提示して交渉したり、プレゼンで予算データを基に価格交渉を行ううちに、数字とロジックで説得するスキルが身に付いたそうです。「企業の役員と面談する機会も多く、学生団体代表として責任ある行動を心掛けています。学生のうちから社会人同様の経験を得ることができます」と言います。

これまで、営業が結果に結び付かず悩んだり、メンバー間の意見対立で板挟みになったりしたこともあったそうですが、「信頼できる先輩や後輩にアドバイスを聞いて聞きまくって、得た意見を必死に実行しました」と困難を突破した経験を振り返ります。相談した相手との信頼関係も深まり、結果的に味方を増やすこともできたのが一番の収穫だとか。

一方、学業にも力を入れ、アルバイトやJEBAの活動と並行して、3年次までにFPと宅地建物取引士の資格を取得したそうです。就職活動においても志望企業からの内定を獲得し、「将来は大きな再開発や国家規模の建造プロジェクトに携わりたい」と、着実に夢への歩みを進めています。

最後に「大学時代は自分の能力を高める大切な時期です。多くの人と関わったり目標を定めて取り組むことは、将来確実に財産になります。自分に問い掛けて、本当にやりたいことには全て挑戦してください」と熱く語りました。



エデュバイトのプレゼン大会で、あいさつをしている山口さん

今回は、山口さんからの
ご紹介で近藤ひなみ
さん(経済学部3
年次生)が登場。
お楽しみに!

Takahiro Yamaguchi

学部・研究科・併設校トピックス

法学部／法学研究科

行動制限解除後の教育活動

4月から通常の授業運営に移行し、キャンパスに以前の活気が戻りました。法学部の開講科目はほぼ全面的に対面になり、到達度確認・定期試験を実施する授業も増えました。

では、コロナ前の状態に逆戻りしたのかというと、そういうわけではありません。情報ツールを有効に活用することで、効果的な学修を目指す授業が増えているように感じられます。効率を追求することには良い面もありますが、それによって失われる面がないかどうか、注意を払うことを忘れないようにしたいと思います。

(副学部長 馬場圭太教授)

文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

分野を超えた交流

東アジア文化研究科では、コロナ禍により行われていなかった新入生歓迎会を、久々に開催しました。教員にとっても自身のゼミ生以外の学生とお話する良い機会になりましたし、学生にとっても異なるゼミ同士で親睦を深め、相互の研究内容に対する理解を深め合う格好の機会になったことと思います。専門分野が異なる相手に自分の研究テーマを分かりやすく説明するのは重要なことです。学生の皆さんには、さまざまな専門分野の人との交流を経験してほしいですね。

(吉川和希准教授)

経済学部／経済学研究科

留学プログラム再開!

今夏、経済学部独自の留学プログラム(GoLDプログラム)が4年ぶりに再開しました。



学生たちはホームステイをしながら、オーストラリアの西シドニー大学で英語や経済学の学習に取り組みました。海外での貴重な経験を今後に生かしてほしいと思います。

(入試主任 岡田啓介教授)

各学部・研究科・併設校のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部／商学研究科

新たな「海外ワークショップ」

2022年度には、新型コロナウイルス感染拡大後初めて、シンガポールのSUSS(Singapore University of Social Sciences)と協力して、「ビジネスリーダー特別プログラム」(BLSPP)の核である「海外ワークショップ」を実施しました。

このプログラムでは、学生たちが現地のスタートアップ企業が提供した課題に取り組み、SUSSの学生と協力して解決策を見出し、企業向けにプレゼンテーションを行いました。企業からは、プレゼンテーションが非常に満足度のいくものであったというフィードバックを受け、プログラムの成功を確信しました。

(中邑光男教授)

社会学部／社会学研究科

秋学期を有意義なものに

秋学期は、春学期の学びを土台に、学問や研究を一段と深める期間となります。また、次の年度や人生の新たなステージに向けての準備期間にもなります。これまで学んだことを発展させ、新たな挑戦に踏み出すための時間を、有意義に過ごしてください。

コロナによる制約もなくなり、活動がしやすく、周囲とのコミュニケーションが取りやすくなりました。大学生活という特別な時期の友人との交流を、ぜひ楽しんでください。秋のキャンパスで、友人と一息というのも貴重な時間だと思えます。

(入試主任 脇田真文教授)

政策創造学部／ガバナンス研究科

政策公務セミナー「暮らしと裁判」

6月1日に第2回政策公務セミナーを開催しました。セミナーでは、大阪地方裁判所の皆さまにお越しいただき、裁判を円滑に進行するための「コート・マネジメント」、そして紛争を公正かつ適切に処理する「公証」の仕事についてお話を伺いました。

裁判所は、社会の正義を実現する場であり、人々の生活の平穏と安全を守る場です。グローバル化やデジタル化など社会のニーズによって司法行政も大きく変化していきます。社会に貢献する働き方を目指している学生の皆さん、一度裁判所に足を運んでみませんか。

(権南希教授)

外国語学部／外国語教育学研究科

関西大学統一学園祭

関西大学統一学園祭が近づいてきました。学生の皆さんも楽しみにしていると思いますが、教員の私も楽しみにしています。というのも、学園祭では普段の授業とは少し異なる皆さんに会うことができるからです。過去には、私のゼミ生が所属していた演劇サークルの公演を観に行き、素晴らしい脚本と演技を楽しみました。そして驚いたことに、脚本と演出はこのゼミ生が担当したというのです。今年はどうのような皆さんと出会えるのでしょうか。

(阿南順子教授)

人間健康学部／人間健康研究科

ボランティアによる地域への貢献

他大学と比較して、本学は地域貢献活動への参加率が高く(2021年度学生センター調べ)、人間健康学部生のボランティア経験率は2018年に5割超と学内最多(同)であり、コロナ下の2020年度にも2割を超えていたそうです(同)。写真は、学生ボランティアによる河川敷清掃の様子です。



(人間健康学部 森田亜矢子准教授)

総合情報学部／総合情報学研究科

合同オフィスアワーの開催!

昨年、多くのゼミそして2回生が参加した合同オフィスアワーを、今年も開催します。

50以上のゼミの中から、自分の入りたい、自分に合ったゼミを選ぶのは大変です。個別に開催されるオフィスアワーを全て回ることも困難です。そんな問題を一気に解決するのが、この合同オフィスアワーです。30以上のゼミが一堂に会し、先生や現役ゼミ生が丁寧に説明します。ゼミは、本学部の学びの核です。2年次生の皆さんは、10月4日(水)の14時40分に、ぜひ、体育館へ足を運んでください。

(学部長 名取良太教授)

社会安全学部／社会安全研究科

京丹波町とコラボ5周年

社会安全学部と京都府京丹波町は、2018年9月に「安全・安心なまちづくり」に狙いを絞った全国でも珍しい包括連携協定を締結しました。それから5年。地元のCATVと協働した防災番組制作、複数ゼミによる土砂災害警戒プロジェクトの継続、小学校・中学校での防災特別授業シリーズ、高等学校での防災プロジェクトの支援、福祉関係者の防災研修会の実施、認定こども園と連携した「ぼうさい体操」の普及など、目覚ましい成果を積み重ねてきました。今後の展開にもご期待ください。

(学生主任 近藤誠司教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

生成系AIとの向き合い方

今年度に入ってから、教育現場におけるいわゆる生成系AIの利用法に関する議論を目にすることが増えました。生成系AIとは、ビッグデータの学習によって文章や画像などのデータを作り出すことのできるAIのことです。例えばChatGPTは、自然言語に加えプログラムや数式も生成できるため、学生がレポートなどの作成に用いるのではないかと懸念が広がりました。

実際に、生成系AIを用いてレポートを作成することを禁止している大学もあるようです。関西大学は、生成系AIは「学習効果を高めることが期

待」される一方で、「その評価は信頼できるものには至って」おらず、また「その生成物をもって教員や学生の活動成果を代替するものではない」という声明を出しています。それでは今後、私たちは生成系AIをどのように活用すべきでしょうか。

例えば、AIを参考に自分で書いたプログラムを修正する場合が考えられます。ここで前提となるのは、使用者がプログラム言語に関する知識を十分に持っていることです。学習の初期からAIに頼ると、生成されたプログラムがなぜ正しいのかが理解できませんし、また仮に間違えていたと

しても気付くことができません。一方で、十分な知識や経験を持ちAIの生成したプログラムを眺めれば、自分では思い付かないような発見につながるかもしれません。

プログラミングに限らず知識を持たずにAIに依存することは、運転免許を持たずに自動運転車に乗ることに似ていると思います。まずは基礎知識をしっかりと身に付け、そして自分自身で手と頭を動かす、その上でAIを補助的に利用すれば高い学習効果を得られる可能性があります。

(システム理工学部 山本真人准教授)

心理学研究科

関西大学心理臨床センター

関西大学心理臨床センターは、地域に開かれた心理カウンセリングルームです。関西大学大学院心理学研究科の附属施設として開設されています。公認心理師や臨床心理士の資格を持つ教員や心理相談員が中心になって運営しています。心理相談員や大学院生が教員の指導の下、心理カウンセリングを担当しています。延べ来談者数は、コロナ禍にあっても毎年千人を超えています。心理支援を研究している大学院生たちにとっても貴重な学びの場となっています。

(池見陽教授)

関西大学北陽中学校

3学年合同ドッジボール大会

6月14日本校総合体育館において、新年度が始まって最初の全校行事「ドッジボール大会」を実施しました。

学年ごとに3カ所に分かれ、男女別で総当たり戦を行いました。体育館全体にプレーヤーの声、応援の音が飛び交い大盛り上がりとなりました。このような全体行事を通じて、クラス結束、学年結束、中学校全体で結束するということを学んだと思います。これからの中学校生活での成長につなげてほしいと願っています。

(教頭 川崎安章教諭)

Attention 大学からの重要なお知らせ

2023年度秋学期 学年暦

試験期間や休業期間などスケジュールを把握し、計画的に学生生活を送ってください。

| 学部 | |
|-----|---|
| 11月 | 4日 大学創立記念日[授業日] |
| 12月 | 26日 冬季休業(～1月5日) |
| 1月 | 6日 授業再開 22日 秋学期授業終了 23日 秋学期試験(～30日) |
| 2月 | 1日 入学試験(～7日) |
| 3月 | 卒業成績発表 在学生成績発表 在学生履修届受付 19日 卒業式 21日 春季休業(～31日) 31日 学年終・秋学期終了 |

| 大学院 | |
|-----|---|
| 11月 | 4日 大学創立記念日[授業日] |
| 12月 | 26日 冬季休業(～1月5日) |
| 1月 | 6日 授業再開 22日 秋学期授業終了 26日 秋学期試験 |
| 3月 | 在学生成績発表 在学生履修届受付 21日 学位記(修士・博士)授与式 24日 春季休業(～31日) 31日 学年終・秋学期終了 |

| 専門職大学院 | |
|--------|--|
| 11月 | 4日 大学創立記念日 |
| 12月 | 26日 冬季休業(～1月5日) |
| 1月 | 6日 <会計>授業再開 9日 <法務>授業再開 22日 <法務>秋学期授業終了 23日 <法務>秋学期試験(～31日) 27日 <会計>秋学期授業終了 |
| 3月 | 専門職学位課程修了者発表 在学生成績発表 在学生履修登録 21日 学位記(専門職学位)授与式 24日 春季休業(～31日) 31日 学年終・秋学期終了 |

| 留学生別科 | |
|-------|---|
| 11月 | 4日 大学創立記念日 22日 日本語科目試験(予備日:24日,成績発表:29日) |
| 12月 | 26日 冬季休業(～1月6日) |
| 1月 | 9日 授業再開 31日 秋学期授業終了 |
| 2月 | 1日 秋学期定期試験(予備日:2日) 8日 秋学期成績発表 13日 日本語集中演習(～27日,成績発表:3月6日) |
| 3月 | 6日 修了成績発表 8日 秋学期修了式 21日 春季休業(～31日) 31日 学年終・秋学期終了 |

※詳細はインフォメーションシステム等で確認してください。

関大トピックス



大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」の共創チャレンジにご協力！

2025年に開催される大阪・関西万博。理想の未来社会の共創を目指す「TEAM EXPO 2025」に、関西大学は共創パートナーとして参画しています。万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に向けた各種活動は「共創チャレンジ」として位置付けられ、万博会場内にて取り組み成果を発表する機会も与えられます。

共創チャレンジの主演は皆さん自身です！万博を通じて、日常の活動を世界に発信し、大阪を共に盛り上げましょう！登録手続きは簡単ですので、以下を参考にぜひご登録ください！



■ 対象となる活動

SDGsやウェルビーイングなど、自らが描く未来の実現に向けた具体的な活動すべて（分野不問）

■ 登録方法（費用は不要です）

- ①「TEAM EXPO 2025」公式ウェブサイトから専用IDを取得
- ②申請フォームより、日常の活動を「共創チャレンジ」として登録（これから開始する新規の活動でも可）
※共創メンバー登録時、「このチャレンジを支援する共創パートナー」欄に必ず「関西大学」を入力してください。
- ③登録完了！

TEAM
EXPO
2025

★ 万博公式サイト

(<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge>)に活動が紹介されるほか、TEAM EXPOの公式ロゴマークの使用権が付与されます。



ラグビー部が創部100周年記念式典を挙行

9月3日、創部100周年を迎えたラグビー部が記念式典を挙行しました。

同部の創部は1923年。本学では相撲部、野球部などと共に長き伝統を持ち、2013年に関西大学ラグビーリーグに復帰してからは、着実に成長を遂げています。

当日は来賓、卒業生を含め約500人が出席し、日本ラグビーフットボール協会会長をはじめ芝井敬司理事長、前田裕学長らが祝辞を述べ、100周年の佳節を祝いました。

9月17日から関西大学Aリーグが開幕し、リーグ戦7試合が東大阪市の花園ラグビー場を中心に近畿各地で開催されています。目標である「大学選手権出場」へ向け、奮闘するラグビー部をぜひ、会場で応援してください。



ソフトテニス部女子が西日本制覇達成！

7月15～18日に西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会が開催され、ソフトテニス部女子が優勝しました。

昨年は準決勝で敗れたこともあり、今年はさらなる飛躍を誓い大会に臨みました。準決勝では、関西学生春季リーグで優勝した神戸松陰女子学院大学に勝利し、決勝戦の相手は同志社大学。手に汗握る一進一退の熱戦の末、2-0で破り優勝を決めました。優勝の瞬間涙を流す選手も見られ、春季リーグの雪辱を果たすと同時に本学が西日本を制しました。



(写真提供：関大スポーツ編集部)

拳法部男子が13年ぶり優勝！女子は準優勝

7月2日に日本拳法第36回全国大学選手権大会が開催され、本学の男子が優勝、女子が準優勝を果たしました。

男子は1回戦で大将である川内宝主将(商4)がけがにより離脱しましたが、長谷川元望さん(法3)が大将となり、一戦一戦着実に勝ち進み、本大会の最優秀選手賞を受賞。準決勝では強豪・大阪商業大学を5-0で圧倒し、迎えた決勝では明治大学を3-2で下して13年ぶりの優勝を飾りました。一方、女子は準決勝で関西学院大学を2-0で下して決勝に進みますが、あと一歩届かず準優勝となりました。



(写真提供：関大スポーツ編集部)

関大人

よもやまばなし

四方山話 ◆ 吟詩部と共に

文学部教授 長谷部 剛



教師は学生と共に成長する。教師という職業に就いている者は誰しも体験することであるが、2007年に関大に着任してからいっそうその思いを強くした。私は中国古典詩歌(漢詩)の研究者であり、着任と同時に文化会吟詩部の顧問となった。

関大吟詩部は長い歴史を誇り最盛期には100人を超える部員を抱える一大部活であったが、私が顧問となった頃には部員は数人に過ぎなかった。吟道の鍛錬を重ね部の存続に努力する学生を見て、私こそ

彼らを見習わなければという思いを強くし、私自身も教員として自己向上に努めた。もし私が関大教員としての理想像に少しでも近づいているならば、それは吟詩部のお陰である。関大生は多士済々。詩吟という、今ではあまりはやらないものにも関心を持つ学生が必ず現れる。素晴らしいかな、関大生。いまでは4人の部員が関大吟詩部の伝統を受け継いでいる。私は彼らを誇りに思う。



編集後記

今回は私立美術館をテーマとして取り上げました。行列必至で全てを見て回るのに数時間かかる大規模なものでなくとも、気軽に楽しめる美術館や企画展はたくさんあります。

私は茶道が趣味なので関連の企画展などを時々見に行きますが、多くは小さい私立美術館です。小一時間じっくり鑑賞した後に喫茶店などでのんびりするのを楽しみます。学生割引を設けている施設も多々ありますので、皆さんも過ごしやすい秋の季節に、自分のお気に入りの美術館を見つけてみてはいかがでしょうか。



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2023年10月1日

発行:関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話:06-6368-1121(大代表)

感染拡大予防策を講じた上で、取材や制作を行っています。

今月の表紙



作者：文化会美術部

松岡 航平さん(政策創造学部 1年次生)

作品名：「釣瓶落とし」 テーマ：「秋」

秋の夕日が早く沈む晩秋。松岡さんは作品の制作にあたり「冬の訪れを予感させるような絵にしました」とコメントされました。